

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                   |
|---|--|--|---|---|----------------------------------|
| 2014-2397<br>2014/11/11<br><br>(事故発生地)<br>不明  | ACアダプター (LED照明用)<br><br>TA36-1201500 (PD-SL01用<br>(販売：(株)PFU))<br><br>エレマテック (株)<br><br>使用期間：約5か月          | LED照明用ACアダプターをコードコネクターボディから抜いたところ、プラグ刃が外れてコードコネクターボディに残った。 | 事故品内部の配線金具と電源プラグ刃がはんだ付け不良であったため、コードコネクターボディから事故品を抜く際、応力に耐えられず、電源プラグ刃が抜けたものと推定される。   | 販売事業者は、2015(平成27)年1月19日付けホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。  | 販売事業者<br><br><br>(受付:2015/01/21) |
| 2014-2448<br>2015/01/10<br><br>(事故発生地)<br>不明  | ACアダプター (LED照明用)<br><br>TA36-1201500 (PD-SL01用<br>(販売：(株)PFU))<br><br>エレマテック (株)<br><br>使用期間：約3か月          | LED照明用ACアダプターをマルチタップから抜いたところ、プラグ刃が外れてマルチタップに残った。           | 事故品内部の配線金具と電源プラグ刃がはんだ付け不良であったため、マルチタップから事故品を抜く際、応力に耐えられず、電源プラグ刃が抜けたものと推定される。        | 販売事業者は、2015(平成27)年1月19日付けホームページに社告を掲載し、無償で対象製品の交換を行っている。  | 販売事業者<br><br><br>(受付:2015/01/27) |
| 2014-1565<br>2014/06/12<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ACアダプター (書画カメラ用)<br><br>ADS0243-U120200 (L-1ex<br>用：(株)エルモ社)<br><br>グローバルマイクロニクス<br>(株)<br><br>使用期間：不明     | 使用中の書画カメラ用ACアダプターから発煙し、機器の一部が溶融した。                         | DCプラグの絶縁樹脂に耐湿性の低い赤リン系難燃剤が使用されていたため、湿度の影響でリン酸が生じて端子金属が腐食し、端子間で短絡が生じて発煙・溶融したものと推定される。 | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるものの拡大被害に至っていないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。<br>なお、当該製品は既に販売を終了している。 | 輸入事業者<br><br><br>(受付:2014/10/17) |
| 2014-1606<br>2013/05/27<br><br>(事故発生地)<br>不明  | ACアダプター (書画カメラ用)<br><br>ADS0243-U120200 (L-1ex<br>用：(株)エルモ社)<br><br>グローバルマイクロニクス<br>(株)<br><br>使用期間：約3年3か月 | 使用中の書画カメラ用ACアダプターから発煙した。                                   | DCプラグの絶縁樹脂に耐湿性の低い赤リン系難燃剤が使用されていたため、湿度の影響でリン酸が生じて端子金属が腐食し、端子間で短絡が生じて発煙・溶融したものと推定される。 | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるものの拡大被害に至っていないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。<br>なお、当該製品は既に販売を終了している。 | 輸入事業者<br><br><br>(受付:2014/10/22) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生日                                 | 品名   | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                         |
|---|--|---|--|---|--|
| 2014-1633<br>2014/10/17<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | エアコン<br><br>F22GTNS-W<br><br>ダイキン工業(株)<br><br>使用期間：約7年11か月       | 使用後のエアコンから発煙した。   | ファン電動機内部のプリント基板上的コンデンサーが短絡したことで、基板上の部品が発熱し、ファン電動機内部のプリント基板が焼損してファン電動機から発火、発煙したものと推定される。  | 製造事業者は、2014(平成26)年10月17日付けホームページ及び翌18日付け新聞に社告を掲載し、無償で点検・修理を行っている。<br>なお、2015(平成27)年5月15日付けホームページ及び翌16日付け新聞に対象範囲を追加する社告を掲載している。      | 製造事業者<br><br><br><br>(受付:2014/10/27)   |
| 2014-2424<br>2015/01/12<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | エアコン<br><br><br><br>使用期間：不明                                      | エアコンを使用中、電源コードから出火し、壁が煤けた。  | 電源コードを途中で切断し、別のプラグ付コードを手より接続したため、接触不良が生じて異常発熱し、発火したものと考えられるが、接続した時期が不明であり、原因の特定はできなかった。  | 輸入事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。   | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/01/23)   |
| 2014-2653<br>2015/01/12<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | カラーテレビ(液晶)<br><br>KDL-40V5<br><br>ソニーイーエムシーエス(株)<br><br>使用期間：約5年 | フロアスタンドに設置した液晶テレビを引っ張って移動させたところ、テレビのリアキャビネットが破損して、テレビが落下した際、破損部分に触って手にけがを負った。 | 事故品は、リアキャビネット(ポリブタジエン含有ポリスチレン製)で保持される壁掛け用取付け部を介してフロアスタンドに固定されており、事故品キャビネット樹脂は、ゴム成分の減少と柔軟性の低下が認められた。事故は、特定の工場で生産した特定のキャビネット色の製品のみで発生していることから、製造上の不具合により、リアキャビネット強度が早期に低下し、移動時に加わった衝撃力等によって破損したものと推定される。 | 輸入事業者は、2013(平成25)年3月14日付けプレスリリース、ホームページへの情報掲載及び登録ユーザーへの電子メールによる通知を行い、同年3月27日付け新聞に社告を掲載し、壁掛け用取付け部を用いて設置されている対象製品について、無償で部品交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/02/19)   |
| 2014-1464<br>2014/09/10<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | スチームアイロン<br><br><br><br>使用期間：約8年                                 | 使用中のアイロンから火が出て、溶けた樹脂が落ちて床が焦げ、指に火傷を負った。  | 長年にわたって水を抜かずで使用しており、筐体内部に水漏れを起こしてサーモスタット接点に錆で固着し、さらに温度ヒューズが正常に作動しなかったことから、異常発熱して焼損したものと考えられるが、温度ヒューズが正常に作動しなかった原因の特定はできなかった。   | 輸入事業者は、事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。   | 消費者センター<br><br><br><br>(受付:2014/10/01) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                     |
|---|---|---|---|---|------------------------------------|
| 2014-2717<br>2015/02/12<br><br>(事故発生地)<br>北海道 | スチームアイロン（コードレス）<br><br>KSI-802<br><br>(株)カンサイ（倒産）<br><br>使用期間：約2年 | 使用中のスチームアイロンから発煙した。                               | ヒーター温度を制御しているサーモスタットが定格不足であったため、接点で接触不良が生じ、異常発熱して発煙したものと推定される。  | 輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。   | 消費者センター<br><br><br>(受付:2015/03/02) |
| 2014-1826<br>2014/09/28<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | スチームアイロン（コードレス）<br><br>使用期間：約4年                                   | 使用中のアイロンをアイロンスタンドに置いていたところ、アイロンスタンドとの接続部付近から発煙した。 | アイロンスタンド側の給電用の接点パネが変形したことから、アイロン側の接点との間で接触不良が生じて異常発熱し、発煙したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、接点パネが変形した原因の特定はできなかった。         | 輸入事業者は、事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。                         | 消防機関<br><br><br>(受付:2014/11/21)    |
| 2014-2344<br>2014/10/20<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | スチームクリーナー（掃除機型）<br><br>使用期間：約10年                                  | 中古品で購入したスチームクリーナーの電源プラグ付近から出火し、周辺を焼損した。           | 電源プラグ刃の片側が湾曲して溶断していることから、過度な応力によりプラグ刃カシメ部近傍で亀裂・破断が生じ、スパークが発生して電源プラグの樹脂が焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。 | 輸入事業者が不明であるため、措置はとれなかった。  | 消防機関<br><br><br>(受付:2015/01/15)    |
| 2014-1610<br>2014/09/30<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | ノートパソコン<br><br>使用期間：約1年   | ノートパソコンを掃除していたところ、指に軽傷を負った。                       | パソコン表面より凹んだ状態で両面テープにより貼り付けられた金属製のバッジが剥がれたため指を負傷したものと推定されるが、バッジ裏側全面には両面テープが張られており、容易に剥がれる構造ではなく、剥がれた原因の特定はできなかった。  | 製造事業者は、バッジが剥がれた原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、今後製造する製品については、推定要因の一つである製造工程時バッジ貼付け作業での加圧不足の可能性について作業者に注意喚起を行うこととした。 | 製造事業者<br><br><br>(受付:2014/10/22)   |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>日                     |
|--|--|--|--|--|--------------------------------|
| 2014-2370<br>2015/01/04<br><br>(事故発生地)<br>愛媛県  | パソコン周辺機器 (LAN<br>接続型ハードディスク)<br><br>使用期間：約3か月                                      | ネット通販で購入した中古の<br>ハードディスクから異音が生じ、発<br>煙した。<br><br>(製品破損)      | 電源回路のツェナーダイオード及びトランジ<br>スター (MOSFET) が異常発熱して焼損し<br>たものと考えられるが、詳細な使用状況等が不<br>明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるた<br>め、措置はとらなかった。   | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/19) |
| 2014-2371<br>2014/12/05<br><br>(事故発生地)<br>鹿児島県 | パソコン周辺機器 (プリン<br>ター)<br>LP-8900 (ブランド：セイコー<br>エプソン (株))<br>富士ゼロックス (株)<br>使用期間：不 明 | プリンターの内部が焼損した。<br><br>(製品破損)                                 | 転写用ローラーに高電圧を印加している電圧<br>制御用ダイオードに不具合品が混入したため、<br>ダイオードが故障して印可電圧が高くなり、転<br>写用ローラーとガイド金属板 (接地側) の間で<br>放電し、転写用ローラーの発泡ウレタン材が焼<br>損したものと推定される。<br><br>(A3)                           | 輸入事業者及びブランド事業者は、<br>2015 (平成27) 年2月16日付け<br>ホームページに社告を掲載し、無償で修理<br>を行っている。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/01/19)   |
| 2014-2477<br>2010/02/15<br><br>(事故発生地)<br>千葉県  | パソコン周辺機器 (プリン<br>ター)<br>LP-8900 (ブランド：セイコー<br>エプソン (株))<br>富士ゼロックス (株)<br>使用期間：不 明 | 使用中のプリンターから異音が<br>生じ、発煙、発火した。<br><br>(製品破損)                  | 転写用ローラーに高電圧を印加しているトラ<br>ンスに不具合品が混入したため、トランスの制<br>御出力用コイルが断線して印可電圧が高くな<br>り、転写用ローラーとガイド金属板 (接地側)<br>の間で放電し、転写用ローラーの発泡ウレタン<br>材が焼損したものと推定される。<br><br>(A3)                          | 輸入事業者及びブランド事業者は、<br>2015 (平成27) 年2月16日付け<br>ホームページに社告を掲載し、無償で修理<br>を行っている。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/01/30)   |
| 2014-1880<br>2014/10/21<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ヘアドライヤー<br>使用期間：約10か月  | ヘアドライヤーを使用中、吸込<br>口のカバーが外れ、指がファンに<br>接触して軽傷を負った。<br><br>(軽傷) | 事故品の吸込口のカバー部分の4つのツメの<br>うち、一つに損傷が見られることから、カバー<br>部分が外れ、ファンに指が当たって事故に至<br>ったものと考えられるが、ツメが一つ損傷した<br>状態でもカバー部分は容易に外れず、また、事<br>故以前の使用状況が不明であり、カバー部分が<br>外れた原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 輸入事業者は、事実関係が不明なことから、<br>措置はとらなかった。   | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/11/28)   |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                        | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|---------------------------|--|---|--|--------------------------------|
| 2014-2501<br>2014/08/18<br><br>(事故発生地)<br>滋賀県 | ヘアドライヤー<br><br>使用期間：約4年   | ヘアドライヤーを使用後、電源プラグの刃の根元付近から青色の液体が出て、コンセントを汚損した。 | 事故品のプラグから染み出していた青色の液体は、電源コード内部全体に存在していた。当該液体は銅を含んでおり、被覆内面にある繊維シート（黒色）と銅線とが反応して生成した可能性が考えられるが、詳細な反応は不明であり、原因の特定はできなかった。<br>なお、輸入事業者から報告書提出の協力は得られなかった。 | 輸入事業者の協力を得られず、措置はとれないが、N I T Eは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。                           | 消費者団体<br><br>(受付:2015/02/03)   |
| 2014-2562<br>2015/01/21<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | ペット用ヒーター<br><br>使用期間：不明   | 使用中のペット用ヒーター付近から出火し、周辺を焼損した。                   | コントローラーの外郭樹脂及び制御基板の端部にあるフィルムコンデンサーが焼損しているが、外部からの延焼によるものか、フィルムコンデンサーが異常発熱して焼損したのか、原因の特定はできなかった。  | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。  | 消防機関<br><br>(受付:2015/02/10)    |
| 2014-2526<br>2015/01/28<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ポータブルラジオ<br><br>使用期間：約1か月 | 使用中のラジオから異音が生じ、乾電池が発熱した。                       | 事故品のスプリング負極端子が変形していることから、乾電池（アルカリ単4形）の負極付近の外装フィルムにスプリング負極端子が当たり、破れて乾電池の正極と負極間で短絡が生じて異常発熱したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、スプリング負極端子が変形した原因の特定はできなかった。        | 輸入事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。  | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/04) |
| 2014-1618<br>2014/09/27<br><br>(事故発生地)<br>滋賀県 | ラミネーター<br><br>使用期間：約3か月   | ラミネーターの底面と置いていたイスの座面が溶融した。                     | 合成樹脂製外郭の排気口が熱変形し、外郭内側の一部が焦げているが、電子部品やヒーター等は正常に機能し、異常発熱した痕跡は認められないことから、原因の特定はできなかった。   | ブランド事業者は、事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。N I T Eは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。 | 消防機関<br><br>(受付:2014/10/23)    |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名                       | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|--|--------------------------|--|---|---|--------------------------------|
| 2014-1872<br>2014/10/00<br><br>(事故発生地)<br>和歌山県 | 換気扇（浴室用）<br><br>使用期間：約9年 | 浴室用換気扇のカバーが落下した。<br><br>(製品破損)                             | 事故品カバー（ABS樹脂製）は、当該カバーを本体に固定するためのバネを引っ掛けるフックが2カ所とも破損していた。破面が鏡面を呈していたことから、ソルベントクラックが発生し、破損に至ったものと考えられるが、事故品は破壊ができないため、詳細な調査が行えず、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、当該製品は、既に販売を終了している。 | 消費者センター<br><br>(受付:2014/11/27) |
| 2013-0480<br>2013/03/10<br><br>(事故発生地)<br>不明   | 携帯電話機<br><br>使用期間：約10日   | 携帯電話機（スマートフォン）をズボンのポケットに入れて持ち歩いていたら、臀部に火傷を負った。<br><br>(軽傷) | 事故品は正常に動作し、異常な温度上昇は確認できないことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であり、他に同種事故発生の情報はないことから、措置はとらなかった。         | 消費者センター<br><br>(受付:2013/05/23) |
| 2014-1635<br>2014/08/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | 携帯電話機<br><br>使用期間：約5か月   | 携帯電話機（スマートフォン）をズボンのポケットに入れていたところ、火傷を負った。<br><br>(軽傷)       | 事故品は正常に動作し、異常な温度上昇は確認できないことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。                   | 消費者センター<br><br>(受付:2014/10/27) |
| 2014-1669<br>2014/09/24<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | 携帯電話機<br><br>使用期間：約1年9か月 | 携帯電話機（スマートフォン）を枕元に置いて就寝したところ、背中に火傷を負った。<br><br>(軽傷)        | 事故品は正常に動作し、異常な温度上昇は確認できないことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。                   | 消費者センター<br><br>(受付:2014/10/31) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|---|---|--|--|--------------------------------|
| 2014-2566<br>2015/01/05<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 携帯電話機<br><br>使用期間：約1年6か月                            | 充電中の携帯電話機（スマートフォン）から異臭がして、発煙し、ACアダプターとの接続部が焦げた。<br><br>(製品破損)           | 事故品の充電器接続部に異物等が付着した状態で充電ケーブルを接続して充電したため、短絡が生じて異常発熱し、樹脂が溶けたものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。  | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/10) |
| 2013-1808<br>2012/12/00<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 高圧洗浄機<br><br>使用期間：約4年6か月                            | 使用中の高圧洗浄機から異臭がし、発煙した。<br><br>(製品破損)                                     | モーターに過電流が流れて異常発熱し、電機子巻線部の樹脂から発煙したものと考えられるが、過電流が流れた原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                                  | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 消費者センター<br><br>(受付:2013/10/16) |
| 2014-2587<br>2015/01/17<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 充電器（USB接続用）<br><br>使用期間：約7か月                        | ネット通販で購入した充電器で携帯電話機（スマートフォン）を充電中、充電器から異臭がして発煙し、外郭樹脂が溶融した。<br><br>(製品破損) | 事故品の内部で異常発熱し、発煙したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br>なお、輸入事業者から報告書は提出されなかった。<br><br>(G1)               | NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。   | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/12) |
| 2014-1535<br>2014/09/14<br><br>(事故発生地)<br>北海道 | 照明器具<br>LCX4024WH<br><br>(株) ヤザワコーポレーション<br>使用期間：1回 | 照明器具を取り付けようとしたところ、感電した。<br><br>(軽傷)                                     | 事故品の内部配線に取り回しミスがあつたため、支柱（金属製）の固定用ネジと接触して絶縁被覆が損傷し、支柱に漏電して感電したものと推定される。<br><br>(A2)                            | 輸入事業者は、他に同種事故発生の情報はないことから、既販品に対する措置はとらないが、在庫品を全数検査するとともに、今後生産する製品は、品質管理を強化することとした。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。 | その他<br><br>(受付:2014/10/15)     |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日   |
|---|---|--|--|---|--|
| 2014-2181<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>不明  | 照明器具（シーリングライト）<br><br>SCL-72CPS<br><br>サナーエレクトロニクス（株）<br><br>使用期間：不 明 | シーリングライトの基板の一部が焼損していた。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損)               | インバーター基板のフィルムコンデンサーに不具合品が混入したため、内部短絡が生じて周囲の電気部品に過電流が流れ、異常発熱して焼損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A3)     | 輸入事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。                         | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/07)   |
| 2014-2155<br>2014/12/17<br><br>(事故発生地)<br>岐阜県 | 照明器具（投光器）<br><br><br><br>使用期間：不 明                                     | 投光器付近から出火し、住宅の一部を焼損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(拡大被害)               | 事故品の電源コードに出火の痕跡は認められなかったが、本体等確認できない電気部品があり、詳細な使用状況等も不明であることから、原因の特定はできなかった。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(G1)    | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。                                 | 消防機関<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/06)    |
| 2014-2561<br>2014/12/29<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 照明器具（浴室用）<br><br><br><br>使用期間：約19年                                    | 浴室用照明器具のカバーを外そうとしたところ、カバーが割れ、指に裂傷を負った。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(軽傷) | 事故品カバー（アクリル樹脂製）に、劣化及び強度の著しい低下は認められず、原因の特定はできなかった。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(G1)                              | 製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。                     | 製造事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/02/10)   |
| 2014-1963<br>2014/07/29<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 食器洗い乾燥機<br><br>NP-BM1<br><br>松下電器産業（株）（現 パナソニック（株））<br><br>使用期間：約7年   | 食器洗い乾燥機から発煙した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損)                       | 下部扉にある表示用基板の配線コネクタの防水対策が不十分であったため、コネクタ端子間に洗浄水が浸入し、トラッキング現象が生じて焼損・発煙したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A1) | 製造事業者は、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。<br>なお、当該製品は既に生産を終了している。 | 消費者センター<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2014/12/10) |



## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|--|--|--|--|--------------------------------|
| 2013-2589<br>2013/11/26<br><br>(事故発生地)<br>奈良県 | 水槽用ヒーター（サーモスタット付）<br><br>使用期間：約9か月                     | ネット通販で購入した水槽用ヒーターを水槽から引き上げたところ、破裂して周辺に飛び散り、発煙した。 | 事故品のガラス管ヒーターを通电したまま水中から引き上げたことから、空焚き状態となり、ガラス管ヒーターの温度及び内圧が上がった際、ガラス管ヒーターの端に傷があったため、破裂したものと考えられるが、傷がついた時期が不明であり、原因の特定はできなかった。 | 輸入事業者は、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。   | 消費者センター<br><br>(受付:2013/12/27) |
| 2014-2353<br>2014/10/24<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 扇風機<br><br>使用期間：約1年4か月                                 | 扇風機の台座付近から火が出た。                                  | 支柱の高さを調整する部品（パイプホルダー）が破損したため、部品固定用のネジ（金属製）が電源基板上に落下し、短絡・スパークが発生したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、パイプホルダーが破損した原因の特定はできなかった。          | 輸入事業者は、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。                                       | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/15) |
| 2014-1915<br>2014/10/17<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 掃除機<br><br>使用期間：不明                                     | 掃除機を使用中、電源プラグ付近から発煙した。                           | 電源プラグ側のコードプロテクター部に引っ張りや屈曲などのストレスが加わり、芯線が断線し、短絡・スパークが発生したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。                               | ブランド事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。  | 販売事業者<br><br>(受付:2014/12/04)   |
| 2014-1978<br>2014/12/06<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 蓄熱式ゆたんぼ<br><br>エコタンポル<br><br>エレス（株）<br><br>使用期間：約1年1か月 | 使用中の蓄熱式ゆたんぼが破裂し、子供が腕に火傷を負った。                     | 電極棒で電解液に通電し加熱するものであり、本体の置き方によってはサーモスタットが過熱を検出できない構造であるため、連続通電状態となり、内圧が異常上昇し、内袋が破れたものと推定される。                                  | 輸入事業者は、2012（平成24）年1月23日から自社ホームページで使用方法に関して「平らな場所で蓄熱する、傾けない。」旨、掲載し注意喚起を行うとともに、販売を停止し、店頭品を回収しており、販売店においても店頭告知やホームページで注意喚起を行っている。 | 消費者センター<br><br>(受付:2014/12/12) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容                       | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日               |
|---|--|------------------------------|---|---|------------------------------|
| 2014-2645<br>2012/00/00<br><br>(事故発生地)<br>新潟県 | 電気オープン<br><br>使用期間：約1年                                 | 電気オープンを使用中、ガラス扉が破損した。        | 当該製品の扉は強化ガラス製であることから、表面に生じた傷や異物などが起点となり、使用中に破損した可能性が考えられるが、破損の起点が確認できず、原因の特定はできなかった。                          | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、今後の事故発生状況に注視することとし、措置はとらなかった。   | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/02/19) |
| 2014-2646<br>2012/00/00<br><br>(事故発生地)<br>茨城県 | 電気オープン<br><br>使用期間：不明                                  | 電気オープンを使用中、ガラス扉が破損した。        | 当該製品の扉は強化ガラス製であることから、表面に生じた傷や異物などが起点となり、使用中に破損した可能性が考えられるが、破損の起点が確認できず、原因の特定はできなかった。                          | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、今後の事故発生状況に注視することとし、措置はとらなかった。   | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/02/19) |
| 2014-2648<br>2014/01/16<br><br>(事故発生地)<br>北海道 | 電気オープン<br><br>使用期間：約1年6か月                              | 電気オープンを使用中、ガラス扉が破損した。        | 当該製品の扉は強化ガラス製であることから、表面に生じた傷や異物などが起点となり、使用中に破損した可能性が考えられるが、破損の起点が確認できず、原因の特定はできなかった。                          | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、今後の事故発生状況に注視することとし、措置はとらなかった。   | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/02/19) |
| 2014-2214<br>2014/11/02<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 電気オープントースター<br>TS-4031<br><br>ツインバード工業(株)<br>使用期間：約1か月 | 使用中の電気オープントースターの、扉のガラスが破損した。 | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。 | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/01/08) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生日                                  | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日   |
|--|--|--|---|---|--|
| 2014-2215<br>2014/11/00<br><br>(事故発生地)<br>滋賀県  | 電気オーブントースター<br><br>TS-4031<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約2か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2216<br>2014/12/09<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気オーブントースター<br><br>TS-4031<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2217<br>2014/11/20<br><br>(事故発生地)<br>岡山県  | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2218<br>2014/11/20<br><br>(事故発生地)<br>不明   | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日   |
|---|--|--|---|---|--|
| 2014-2219<br>2014/11/20<br><br>(事故発生地)<br>千葉県 | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約2か月 | 使用中の電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2220<br>2014/11/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約2か月 | 使用中の電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損) | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2221<br>2014/11/00<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損)     | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2222<br>2014/12/03<br><br>(事故発生地)<br>千葉県 | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月 | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(製品破損)     | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A2) | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/01/08) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名   | 事故通知内容                     | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                         |
|--|--|----------------------------|---|---|--|
| 2014-2223<br>2014/12/03<br><br>(事故発生地)<br>不明   | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：不明           | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。   | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。 | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/01/08)   |
| 2014-2224<br>2014/12/12<br><br>(事故発生地)<br>奈良県  | 電気オーブントースター<br><br>TS-4033<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1か月         | 電気オーブントースターの、扉のガラスが破損した。   | 事故品扉の窓は強化ガラス製で、当該窓を挟み込んでいる金属製上枠の挟み込み部の寸法に狭いものが混入したため、窓と金属枠との熱膨張率の違いによってクラックを生じ、使用中に伸展して引張応力層に達し、破損したものと推定される。 | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2014(平成26)年12月24日付けホームページへの社告掲載、及び販売事業者によるダイレクトメール送付にて、対象ロット製品の無償交換を実施している。 | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/01/08)   |
| 2014-1443<br>2014/09/25<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気オープンレンジ<br><br>MAX-R16(ブランド:(株)山善)<br><br>(株)クリスタル電器<br><br>使用期間：約3年 | 使用中の電気オープンレンジから異音が生じ、発煙した。 | 高圧コンデンサーに不具合品が混入したため、内部で異常放電が発生し、発煙したものと推定される。  | 輸入事業者は、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、措置はとらなかった。NITEは、引き続き同様の事故発生状況に注視し、必要に応じて対応することとした。            | 消費者センター<br><br><br><br>(受付:2014/09/29) |
| 2014-1670<br>2014/10/09<br><br>(事故発生地)<br>京都府  | 電気オープンレンジ<br><br>JM-V16A<br><br>ハイアールジャパンセールス(株)<br><br>使用期間：約1年6か月    | 電気オープンレンジのタイマーが切れず、運転し続けた。 | マグネトロン用リレーに不具合品が混入したため、リレー接点が溶着したことから、扉のラッチスイッチで一旦停止したが、扉を閉めた際、空焚き運転が継続したものと推定される。                            | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるものの拡大被害に至っていないことから、措置はとらないが、今後の事故発生状況を注視し、必要に応じて対応することとした。                         | 消費者センター<br><br><br><br>(受付:2014/10/31) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生日                                  | 品名                                 | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置                                    | 情報通知者<br>年月日                   |
|--|------------------------------------|--|---|---|--------------------------------|
| 2014-2156<br>2014/12/09<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気オープンレンジ（スチーム機能付）<br><br>使用期間：約3年 | 電気オープンレンジを使用中、コンセント周辺が焦げた。<br><br>(拡大被害)         | 電源プラグ刃と壁コンセントの刃受けとの間で接触不良が生じて異常発熱し、焦げたものと考えられるが、電源プラグは事業者が確認後に交換・破棄しており、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 輸入事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。 | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/06) |
| 2014-2471<br>2015/01/11<br><br>(事故発生地)<br>静岡県  | 電気カーペット<br><br>使用期間：約3年            | 使用中の電気カーペット付近から出火して、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)       | 焼損部のヒーター線が断線していたが、溶融痕はなく、コントローラーにも異常は認められないことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                         | 製造事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。                 | 消防機関<br><br>(受付:2015/01/29)    |
| 2014-2374<br>2015/01/07<br><br>(事故発生地)<br>長崎県  | 電気こたつ（中間スイッチ付コード）<br><br>使用期間：不明   | 使用中の電気こたつ付近から出火して、住宅を全焼し、家人1人が死亡した。<br><br>(死亡)  | 電源コードに溶融痕が確認されたが、事故品の焼損が著しく、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。                 | 警察機関<br><br>(受付:2015/01/19)    |
| 2014-1893<br>2014/11/18<br><br>(事故発生地)<br>静岡県  | 電気スタンド（白熱電球）<br><br>使用期間：約3年       | 電気スタンドを点灯したところ、電源コードの本体側根元から火花が出た。<br><br>(製品破損) | 本体側の電源コードブッシング部でコード芯線が断線し、短絡・スパークが発生したのと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)           | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。            | 消費者センター<br><br>(受付:2014/12/01) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|--|--|--|--|--------------------------------|
| 2014-2105<br>2014/11/17<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | 電気ストーブ<br><br>使用期間：不 明   | 電気ストーブ付近から出火し、<br>周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)                 | 事故品の近くにあった可燃物に着火し、焼損<br>したものと考えられるが、焼損が著しく、電源<br>スイッチの状態が確認できないことから、原因<br>の特定はできなかった。<br><br>(G1)                            | 製造事業者等が不明であるため、措置は<br>とれなかった。  | 消防機関<br><br>(受付:2014/12/25)    |
| 2014-2742<br>2015/02/23<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 電気ストーブ（オイルヒー<br>ター）<br>H290812EC<br><br>デロンギ・ジャパン（株）<br>使用期間：約10年                | 使用中のオイルヒーターから異<br>音がし、オイルが漏れて、周辺を<br>汚損した。<br><br>(拡大被害) | 製造時の放熱フィンのスポット溶接が不完全<br>であったために、使用中の加熱・冷却による鋼<br>板の膨張・収縮やオイルの内圧に、スポット溶<br>接部が耐えられずに破損し、穴が空きオイルが<br>漏れ出たものと推定される。<br><br>(A2) | 輸入事業者は、同種事故が発生している<br>ものの、人的被害や火災は発生していない<br>ことから、既製品については特に措置をと<br>らなかったが、2008（平成20）年<br>10月2日からホームページ上において、<br>オイル漏れ等が発生した場合は製品交換又<br>は無償修理を行う旨記載している。 | 消費者センター<br><br>(受付:2015/03/04) |
| 2014-1566<br>2014/09/30<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 電気ストーブ（オイルヒー<br>ター、遠赤外線式）<br>CVP21TJ<br><br>（株）ディンプレックス・ジャ<br>パン<br>使用期間：約2年11か月 | ネット通販で購入したオイル<br>ヒーターを使用中、発煙した。<br><br>(製品破損)            | 電源線と内部配線を接続しているファストン<br>端子にカシメ不良があったため、接触不良が生<br>じて異常発熱し、端子の樹脂カバーが発煙した<br>ものと推定される。<br><br>(A2)                              | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるも<br>のの拡大被害に至っていないことから、既<br>製品に対する措置はとらないが、当該製品<br>の輸入・販売を中止した。   | 消費者センター<br><br>(受付:2014/10/17) |
| 2014-2636<br>2013/12/02<br><br>(事故発生地)<br>愛知県 | 電気ストーブ（オイルヒー<br>ター、遠赤外線式）<br>CVP21TJ<br><br>（株）ディンプレックス・ジャ<br>パン<br>使用期間：不 明     | 使用中のオイルヒーターから発<br>煙した。<br><br>(製品破損)                     | 電源線と内部配線を接続しているファストン<br>端子にカシメ不良があったため、接触不良が生<br>じて異常発熱し、端子の樹脂カバーが発煙した<br>ものと推定される。<br><br>(A2)                              | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるも<br>のの拡大被害に至っていないことから、既<br>製品に対する措置はとらないが、当該製品<br>の輸入・販売を中止した。   | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/02/18)   |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容                                | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                         |
|---|---|---------------------------------------|---|---|--|
| 2014-2637<br>2013/12/12<br><br>(事故発生地)<br>奈良県 | 電気ストーブ（オイルヒーター、遠赤外線式）<br><br>CVP21TJ<br><br>(株) ディンプレックス・ジャパン<br><br>使用期間：不明          | 使用中のオイルヒーターから発煙した。                    | 電源線と内部配線を接続しているファストン端子にカシメ不良があったため、接触不良が生じて異常発熱し、端子の樹脂カバーが発煙したものと推定される。 | 輸入事業者は、同種事故の発生はあるものの拡大被害に至っていないことから、既製品に対する措置はとらないが、当該製品の輸入・販売を中止した。  | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/02/18)   |
| 2014-2605<br>2014/12/25<br><br>(事故発生地)<br>京都府 | 電気ストーブ（パネルヒーター）<br><br>サンラメラ600W型<br><br>(有) オリエンタルホープ（現（資）オリエンタル）<br><br>使用期間：約6年1か月 | 通信販売で購入したパネルヒーターを使用中、異音が生じ、発煙した。      | 発熱体（カーボンヒーター）の電極部が、ヒーターの熱により剥がれやすい構造であったため、接触不良が生じ、スパークが発生したものと推定される。   | 製造事業者は、発煙した電極部の接続部分は、セラミックパネルと金属のパネルで覆われており、発火の危険性は低いことから、既製品については措置はとらなかった。<br>なお、2010（平成22）年度生産品より、発熱ユニットの配線接合部に湿気対策を施した配線の接合方法を変更している。             | 消費者センター<br><br><br><br>(受付:2015/02/16) |
| 2014-2586<br>2015/01/17<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気ストーブ（パネルヒーター）<br><br>XHP-X010（ブランド：プラマイゼロ（株））<br><br>日伸工業（株）<br><br>使用期間：約2か月       | ネット通販で購入したパネルヒーターを使用中、ヒーターの下部から火花が出た。 | ヒーター端子を固定しているネジ止めに締め付け不足があったため、接触不良が生じてスパークが発生し、反射板や遮熱板に映ったものと推定される。    | 輸入事業者は、拡大被害に至っていないことから、既製品に対する措置はとらなかった。<br>なお、同一ロットの在庫品については、ネジの締め付けトルクを確認・調整することとした。  | 消費者センター<br><br><br><br>(受付:2015/02/12) |
| 2014-2399<br>2015/01/17<br><br>(事故発生地)<br>岐阜県 | 電気ストーブ（ハロゲンヒーター）<br><br>YH-8000（B）<br><br>(株) 優（倒産）<br><br>使用期間：約6年                   | 使用中のハロゲンヒーターから出火し、床を焼損した。             | 電力制御用に使用している整流器（ダイオード）の部品不良により異常発熱し、首振り部分の樹脂製バックカバー付近から発火したものと推定される。    | 輸入事業者が倒産しているため、措置はとれないが、2003（平成15）年度の商品より、ダイオードに温度ヒューズを取り付けている。<br>なお、NITEは、2006（平成18）年12月15日に事故情報特記ニュースにより注意喚起を行うとともに、経済産業省においてもプレスリリースをし注意喚起を行っている。 | 消防機関<br><br><br><br>(受付:2015/01/21)    |



## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名                                | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置                                | 情報通知者<br>受付年月日               |
|--|-----------------------------------|--|---|---------------------------------------|------------------------------|
| 2014-1997<br>2014/12/11<br><br>(事故発生地)<br>岡山県  | 電気ストーブ（ハロゲンヒーター）<br><br>使用期間：不明   | 使用中のハロゲンヒーター付近から出火し、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)                   | ヒーターリード線と内部配線の圧着接続部が手よりとはんだ付けに改造しており、はんだ付けが不十分であったため、接触不良が生じて異常発熱し、周囲の可燃物（絶縁被覆、外郭樹脂等）が焼損したのと考えられるが、改造した時期が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)         | 輸入事業者が所在不明で連絡が付かず、措置はとれなかった。          | 消防機関<br><br>(受付:2014/12/16)  |
| 2014-1976<br>2014/11/30<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 電気ストーブ（遠赤外線式）<br><br>使用期間：約6年10か月 | 延長コードに電気ストーブを接続して使用していたところ、接続部から発火し、カーペットが焦げた。<br><br>(拡大被害) | 事故品の電源プラグ内部で不具合が生じて異常発熱し、短絡・スパークが発生して焼損したのと考えられるが、事故品の電源プラグ刃及び延長コードは使用者が廃棄しており、電源プラグ刃と延長コードとの間で接触不良が生じて異常発熱した可能性もあることから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。        | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/12/12) |
| 2014-2483<br>2015/01/22<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県  | 電気ストーブ（遠赤外線式）<br><br>使用期間：約7年     | 電気ストーブを使用中、電源プラグの根元付近から発火し、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)            | 電源プラグ側のコードプロテクター部に引っ張りや屈曲などのストレスが加わり、芯線が半断線し、スパークが発生したのと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 輸入事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2015/01/30) |
| 2014-1965<br>2014/11/19<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | 電気マッサージ器<br><br>使用期間：約1か月3回       | 電気マッサージ器を使用中、肋骨を骨折した。<br><br>(軽傷)                            | 事故品は腰・背中用の器具であり、使用中に肋骨（下側にある右第10胸椎）が圧迫されて骨折したのと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)  | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。        | 販売事業者<br><br>(受付:2014/12/10) |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生日                                 | 品名  | 事故通知内容                                 | 事故原因  | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                     |
|---|---|--|---|--|------------------------------------|
| 2014-1824<br>2014/10/14<br><br>(事故発生地)<br>石川県 | 電気やかん<br><br>DEK-06L<br><br>(株)ドウシシャ<br><br>使用期間：約5年                    | 電気やかんの底の樹脂部分が溶融した。                     | サーモスタットに内部配線を接続する工程において、作業ミスにより内部配線に応力を加わえたため、半断線が生じて異常発熱し、本体底面の樹脂が溶融したものと推定される。  | 輸入事業者は、他に同種事故発生の情報はなく、拡大被害に至っていないことから、既製品に対する措置はとらなかった。<br>なお、当該製品は既に販売を終了しており、今後製造する製品については、配線時のリード線の取扱いに対して作業指導を行うこととした。   | 消費者センター<br><br><br>(受付:2014/11/21) |
| 2014-2398<br>2014/12/31<br><br>(事故発生地)<br>不明  | 電気やかん<br><br>TP-R500 (ブランド：(株)良品計画)<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1年  | 電気やかんを持ち上げたところ、本体が分離し、こぼれたお湯で指に火傷を負った。 | 事故品本体(ポリプロピレン樹脂製)は、注ぎ口及びハンドルを有する本体上部、内容及び外胴ケースで構成されていた。内容器の外径が、成形上のばらつきにより、設計寸法と比較して約1mm小さかったことから、本体上部との嵌合・溶着不良を生じ、使用中に本体が上下に分離し、こぼれたお湯で指に火傷を負ったものと推定される。 | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2015(平成27)年1月17日付けホームページに社告を掲載し、対象ロットについて製品の回収及び返金を行っている。また、販売事業者は、新聞、店頭及びホームページに同内容の社告を掲載している。<br>なお、輸入事業者は、今後の製品について、品質管理を強化するとともに、溶着が外れても分離しないように設計変更することとした。 | 販売事業者<br><br><br>(受付:2015/01/21)   |
| 2014-2822<br>2015/01/07<br><br>(事故発生地)<br>不明  | 電気やかん<br><br>TP-R500 (ブランド：(株)良品計画)<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約8か月 | 電気やかんを持ち上げたところ、本体が分離した。                | 事故品本体(ポリプロピレン樹脂製)は、注ぎ口及びハンドルを有する本体上部、内容及び外胴ケースで構成されていた。内容器の外径が、成形上のばらつきにより、設計寸法と比較して約1mm小さかったことから、本体上部との嵌合・溶着不良を生じ、使用中に本体が上下に分離したものと推定される。                | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2015(平成27)年1月17日付けホームページに社告を掲載し、対象ロットについて製品の回収及び返金を行っている。また、販売事業者は、新聞、店頭及びホームページに同内容の社告を掲載している。<br>なお、輸入事業者は、今後の製品について、品質管理を強化するとともに、溶着が外れても分離しないように設計変更することとした。 | 輸入事業者<br><br><br>(受付:2015/03/13)   |
| 2014-2823<br>2014/02/23<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電気やかん<br><br>TP-R500 (ブランド：(株)良品計画)<br><br>ツインバード工業(株)<br><br>使用期間：約1年  | 電気やかんの本体が分離した。                         | 事故品本体(ポリプロピレン樹脂製)は、注ぎ口及びハンドルを有する本体上部、内容及び外胴ケースで構成されていた。内容器の外径が、成形上のばらつきにより、設計寸法と比較して約1mm小さかったことから、本体上部との嵌合・溶着不良を生じ、使用中に本体が上下に分離したものと推定される。                | 輸入事業者は、特定ロットで発生していることから、2015(平成27)年1月17日付けホームページに社告を掲載し、対象ロットについて製品の回収及び返金を行っている。また、販売事業者は、新聞、店頭及びホームページに同内容の社告を掲載している。<br>なお、輸入事業者は、今後の製品について、品質管理を強化するとともに、溶着が外れても分離しないように設計変更することとした。 | 輸入事業者<br><br><br>(受付:2015/03/13)   |

## 製品区分： 01.家庭用電気製品

| 管理番号<br>事故発生日                                 | 品名                          | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置                              | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|-----------------------------|---|--|-------------------------------------|--------------------------------|
| 2014-1942<br>2014/11/26<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 電気製パン器<br><br>使用期間：約2か月     | 使用中の電気製パン器から発煙した。<br><br>(製品破損)                               | 調理中の練り工程でパン生地の一部がパンケースから飛び出したため、ヒーターで過熱されて発煙したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、パン生地の一部がパンケースから飛び出した原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 輸入事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 消費者センター<br><br>(受付:2014/12/08) |
| 2014-2352<br>2015/01/05<br><br>(事故発生地)<br>群馬県 | 電動ミシン<br><br>使用期間：不明        | 電動ミシンの電源プラグ付近から出火して、周辺を焼損し、1人が軽傷を負った。<br><br>(軽傷)             | 電源プラグ付近のコードが半断線しており、スパークが発生して異常発熱し、出火したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                            | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。           | 消防機関<br><br>(受付:2015/01/15)    |
| 2014-2601<br>2015/01/06<br><br>(事故発生地)<br>石川県 | 配線器具(延長コード)<br><br>使用期間：約1年 | 延長コードにオイルヒーターの電源プラグを接続して使用していたところ、異臭がし、接続部が焦げた。<br><br>(拡大被害) | 延長コードの刃受けとオイルヒーターの電源プラグ刃との間で接触不良が生じ、異常発熱して焼損したものと考えられるが、詳細な使用状況等が不明であり、接触不良が生じた原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)             | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/16) |
| 2014-2396<br>2015/01/01<br><br>(事故発生地)<br>三重県 | 浴室換気乾燥暖房機<br><br>使用期間：約10年  | 浴室換気乾燥暖房機の電源が切れず、異臭がした。<br><br>(製品破損)                         | 事故現場における動作確認で異常は認められず、正常に動作したが、製品内部は確認できなかったことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/21) |

## 製品区分： 02.台所・食卓用品

| 管理番号<br>事故発生日                                  | 品名                             | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|--|--------------------------------|---|--|--|--------------------------------|
| 2014-2522<br>2014/12/21<br><br>(事故発生地)<br>千葉県  | 食器（コップ、強化ガラス製）<br><br>使用期間：約1年 | コップが突然割れ、破片が飛散した。<br><br>(製品破損)                   | 事故品は強化ガラス製であることから、表面についた傷や異物などが起点となり、使用に伴う熱等によって伸展し、突然、自然破壊したものと考えられるが、起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)              | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。                               | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/04) |
| 2014-2040<br>2014/11/29<br><br>(事故発生地)<br>福島県  | 土なべ<br><br>使用期間：約10年           | ガスこんろで調理後の土なべを運んでいたところ、底が抜け、足に火傷を負った。<br><br>(軽傷) | 事故品は、長期使用（約10年）の間にひびが入り、徐々に亀裂が伸展して破損したものと考えられるが、ひびが生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                                     | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。                               | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/12/18)   |
| 2014-1460<br>2014/09/02<br><br>(事故発生地)<br>不明   | 包丁（セラミック製）<br><br>使用期間：不明      | 使用中の包丁の刃が折れ、折れた刃が足にあたって、裂傷を負った。<br><br>(軽傷)       | 硬い材料であるカボチャを切ろうとして包丁の刃が折れ、折れた刃が足にあたったものと推定されるが、事故品等が入手できず、原因の特定はできなかった。<br>なお、取扱説明書には「カボチャ等の硬いものは切らない」旨、記載されている。<br><br>(G1) | 製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかったが、今後取扱説明書の改善を検討している。 | 製造事業者<br><br>(受付:2014/10/01)   |
| 2014-2316<br>2013/10/10<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 容器（耐熱ガラス製、ふた付）<br><br>使用期間：約1年 | ガラス製の容器にふたをしたところ、容器が割れて、手に裂傷を負った。<br><br>(軽傷)     | 事故品は、口天部の内縁側表面に生じていた傷を起点に破損していたことから、樹脂製ふた開閉時の応力などによって傷が伸展し、破損に至ったものと考えられるが、傷が生じた時点は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)           | 製造事業者は、製品に起因しない事故と考えられることから、措置はとらなかった。                       | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/14) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名  | 事故通知内容                                     | 事故原因  | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                            |
|--|---|--|---|--|---|
| 2014-2232<br>2014/12/24<br><br>(事故発生地)<br>鹿児島県 | ガスこんろ（都市ガス用）<br><br>使用期間：不明               | 使用中のガスこんろの背面から火が出て、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)  | バーナーの火が周辺の可燃物に着火して焼損物が背面のガスホースに落下したため、ガスホースが燃えたものと考えられるが、事故時の状況が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 国の行政機関<br><br>(受付:2015/01/09)             |
| 2014-2540<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>京都府  | ガスこんろ（都市ガス用、<br>クッキングテーブル）<br><br>使用期間：不明 | クッキングテーブルのガス接続部が焼損していた。<br><br>(製品破損)      | 長期使用（製造後約40年）により、ガスこんろの迅速継手式ガス接続部に組み込まれたコンセントパッキンの劣化などで、ガスが漏洩し、こんろバーナーの炎が引火した可能性が考えられるが、事故品を入手できないことから、調査できなかった。<br><br>(G2)  | 製造事業者は、ホームページで当該品の経年劣化による事故を紹介し、こんろ部を使用しないよう注意喚起している。また、販売事業者は、ホームページ上で、古いコンセント継手（迅速継手）の取り替えを推奨するとともに、機器本体にコンセント継手が内蔵されている機種はコンセント継手の交換ができないため、ガスこんろとしての使用は控えるよう、注意喚起するとともに、所有者には電話連絡している。 | 製造事業者<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/02/06) |
| 2014-2481<br>2015/01/20<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | ガスこんろ（都市ガス用、<br>ビルトイン型）<br><br>使用期間：約13年  | ガスこんろのバーナー下部付近から火が出た。<br><br>(製品破損)        | グリル庫内の異常過熱により、製品内部のグリル周辺にあった多量の堆積物に着火し、製品内部を焼損させた可能性が考えられるが、使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)  | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。  | 国の行政機関<br><br>(受付:2015/01/30)             |
| 2014-2157<br>2014/12/26<br><br>(事故発生地)<br>北海道  | ガストーブ（カセットボンベ式）<br><br>使用期間：1回            | ガストーブを使用中、異音が生じて炎が上がリ、量が焦げた。<br><br>(拡大被害) | 当該製品は操作つまみのロック機構により、つまみが閉の位置以外ではボンベを装着できない構造であるが、ロック機構が破損していたことにより、つまみが閉ではない位置でガスボンベが接続できたため、ボンベが半ロック状態で保持され、ボンベ接続部分からガスが漏れ、点火時の火花が引火したものと推定されるが、ロック機構が破損した経緯は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。  | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/06)            |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管 理 番 号<br>事 故 発 生 年 月 日                       | 品 名  | 事 故 通 知 内 容                            | 事 故 原 因  | 再 発 防 止 措 置  | 情 報 通 知 者 日<br>受 付 年 月 日                   |
|--|--|--|--|--|--|
| 2014-2439<br>2015/01/07<br><br>(事故発生地)<br>京都府  | ガストーチ<br><br>使用期間：1回                           | ガストーチを点火したところ、<br>ガス調整つまみ付近から火が出た。     | 事故品は、ノズル部に異物が詰まった状態であったため、ガスが微量に漏洩し、滞留したガスが点火時のスパークで引火したものと考えられるが、詰まっていた異物は採取できておらず、ノズル部に異物が詰まった時期は不明であり、原因の特定はできなかった。                                 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、最終検査から製品梱包までの間のゴミ侵入防止対策を徹底するとともに、今後ゴミが侵入してもノズルが詰まらない設計を検討していくこととした。 | 消防機関<br><br>(受付:2015/01/26)                |
| 2014-2028<br>2014/12/10<br><br>(事故発生地)<br>香川県  | ガスファンヒーター（LP<br>ガス用）<br><br>使用期間：不 明           | ガスファンヒーターを点火した<br>ところ、異音が生じ、周辺を焼損した。   | 事故品に焼損やガス漏れ等の異常はみられず、詳細な事故当時の状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。  | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 業界団体等<br><br>国の行政機関<br><br>(受付:2014/12/17) |
| 2014-2373<br>2014/12/20<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県  | ガスファンヒーター（LP<br>ガス用）<br><br>使用期間：約1年3か月        | 使用中のガスファンヒーターから<br>異音が生じ、フロントカバーが変形した。 | 事故品は、ガス漏れ及び点火・着火動作等に異常がなく、事故発生時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。  | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 製造事業者<br><br>(受付:2015/01/19)               |
| 2014-2240<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガスふろがま（LPガス<br>用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約4年8か月 | ガスふろがまのケーシングが変<br>形していた。               | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、被害者の点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと考えられるが、ケーシングの一部変形は、ガス定期保安点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、2011（平成23）年4月から、誤操作や異常操作による異常着火を防止する機能などを装備した「あんしん高度化対応製品」を販売している。  | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>(受付:2015/01/09) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日  |
|---|---|---|--|---|---|
| 2014-2677<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式）<br><br>使用期間：約20年1か月       | ガスふろがまのケーシングが変形していた。<br><br>(製品破損)            | 機器にガス漏れ等の異常がないことから、水漏れによる種火の点火不良から燃焼室に滞留した未燃ガスに、点火操作のスパークが引火して異常着火し、ケーシングが変形したものと推定されるが、事故発生時期が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。  | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/24) |
| 2014-1875<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約12年5か月 | ガスふろがまのケーシングが変形していた。<br><br>(製品破損)            | 事故品は、器具栓つまみの摩耗以外に異常がなく、被害者が器具栓つまみを回しても点火し難い状況で繰り返し点火操作を行ったことで、機器内に未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたと考えられるが、使用者は機器の変形に気付いておらず、事故発生時期および発生状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。   | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/11/28)              |
| 2014-2029<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約8年6か月  | ガスふろがまのフロントカバーの下部がケーシングから外れていた。<br><br>(製品破損) | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、途中失火等により、未燃ガスが滞留し、再点火操作時のスパークにより引火し、異常着火に至ったものと推定されるが、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)  | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、2011（平成23）年4月から、誤操作や異常操作による異常着火を防止する機能などを装備した「あんしん高度化対応製品」を販売している。 | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/12/17) |
| 2014-2094<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約5年1か月  | ガスふろがまのケーシングが変形していた。<br><br>(製品破損)            | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、被害者の点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと考えられるが、ケーシングの一部変形は、ガス定期保安点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)       | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、2011（平成23）年4月から、誤操作や異常操作による異常着火を防止する機能などを装備した「あんしん高度化対応製品」を販売している。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2014/12/25)              |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容               | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日  |
|---|--|----------------------|--|---|---|
| 2014-2154<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約22年4か月  | ガスふろがまのケーシングが変形していた。 | 機器にガス漏れ及び着火動作等の異常がなく、冠水跡が確認されたことから、機器の冠水等による点火し難い状況下での点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと推定されるが、ケーシングの一部変形はガス定期保安点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、2011（平成23）年4月より、異常着火防止対策として、ガス電磁弁の閉止時間を短縮させ、ガスの放出を防止する機能を装備した製品が販売されている。 | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/01/06) |
| 2014-2359<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約28年11か月 | ガスふろがまのケーシングが変形していた。 | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、被害者の点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと考えられるが、ケーシングの一部変形は、入居前点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。                            | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、2011（平成23）年4月から、誤操作や異常操作による異常着火を防止する機能などを装備した「あんしん高度化対応製品」を販売している。       | 製造事業者<br><br>公益事業者<br><br>国の行政機関<br><br>(受付:2015/01/16) |
| 2014-2672<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約7年1か月   | ガスふろがまのケーシングが変形していた。 | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、被害者が点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと推定されるが、ケーシングの一部変形はガス定期保安点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。                          | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、2011（平成23）年4月より、異常着火防止対策として、ガス電磁弁の閉止時間を短縮させ、ガスの放出を防止する機能を装備した製品が販売されている。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/23)              |
| 2014-2673<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガスふろがま（都市ガス用、BF式、給湯機能付）<br><br>使用期間：約8年9か月   | ガスふろがまのケーシングが変形していた。 | 機器にガス漏れ及び着火不良等の異常がないことから、被害者が点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと推定されるが、ケーシングの一部変形はガス定期保安点検時に確認されたものであり、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。                          | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、2011（平成23）年4月より、異常着火防止対策として、ガス電磁弁の閉止時間を短縮させ、ガスの放出を防止する機能を装備した製品が販売されている。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/23)              |



## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名   | 事故通知内容                      | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日  |
|--|--|-----------------------------|--|---|---|
| 2014-2674<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | ガスふろがま(都市ガス用、BF式、給湯機能付)<br><br>使用期間：約10年5か月                        | ガスふろがまのケーシングが変形していた。        | 機器にガス漏れ及び着火動作等の異常がなく、冠水跡が確認されたことから、機器の冠水等による点火し難い状況下での点火操作の繰り返し等により、未燃ガスが滞留し、異常着火に至り、ケーシングを変形させたものと推定されるが、事故発生時の詳細な状況が不明であるため、原因の特定はできなかった。    | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。<br>なお、2011(平成23)年4月より、異常着火防止対策として、ガス電磁弁の閉止時間を短縮させ、ガスの放出を防止する機能を装備した製品が販売されている。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/23)              |
| 2014-2070<br>2014/12/17<br><br>(事故発生地)<br>鹿児島県 | ガスふろがま(都市ガス用、RF式、給湯機能付)<br>GRQ-162<br><br>(株)ノーリツ<br>使用期間：約23年11か月 | 使用中のガスふろがまから火が出て、機器内部を焼損した。 | 供給ガス圧の変動を調整する部品(ガスガバナ)内の設計不良により、ダイヤフラム(ガス圧調整のためのゴム膜)のストローク量が大きくなった状態で、長期間(約24年)使用されたためダイヤフラムの劣化が進み、ガス漏れが生じ、漏れたガスにバーナーの炎が引火し機器内部を焼損させたものと推定される。 | 製造事業者は、2007(平成19)年6月9日及び2008(平成20)年3月17日付けの新聞およびホームページに社告を掲載し、無償で点検・部品交換を行っている。                               | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>(受付:2014/12/24)              |
| 2014-1970<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | ガスふろがま(都市ガス用、RF式、給湯機能付)<br><br>使用期間：約12年8か月                        | ガスふろがまのフロントカバーが変形していた。      | 機器にガス漏れ及び点火・着火動作等の異常がないことから、積雪により排気口が閉塞された状態で使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形した可能性が考えられるが、事故発生時期が不明であり、原因の特定はできなかった。                    | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。   | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>(受付:2014/12/11)              |
| 2014-2394<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガスふろがま(都市ガス用、RF式、給湯機能付)<br><br>使用期間：約9年9か月                         | ガスふろがまのフロントカバーが変形していた。      | 機器にガス漏れ等の異常がなかったことから、積雪により排気口が閉塞された状態で使用したことで、空気不足のため燃焼できずに滞留した未燃ガスに点火スパークが引火して異常着火し、フロントカバーが変形したものと考えられるが、事故発生時期が不明であり、原因の特定はできなかった。          | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。  | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/01/21) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置                              | 情報通知者<br>受付年月日  |
|--|---|--|---|-------------------------------------|---|
| 2014-2492<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガスふろがま(都市ガス用、RF式、給湯機能付)<br><br>使用期間：約10年7か月 | ガスふろがまのフロントカバーが変形していた。<br><br>(製品破損)                             | 機器にガス漏れ及び点火・着火動作等の異常がないことから、積雪により排気口が閉塞された状態で使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形した可能性が考えられるが、事故発生時期が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/02) |
| 2014-1552<br>2014/10/07<br><br>(事故発生地)<br>大阪府  | ガスホース(都市ガス用)<br><br>使用期間：約22年               | ガス炊飯器を使用中、ガスホースの接続部付近から火が出た。<br><br>(製品破損)                       | 事故品は、ガス炊飯器に接続したままの状態です卓上から誤って落下させるなどにより、ソケット部に材料強度を上回る衝撃荷重が加わって本体樹脂が割れ、その状態でガス炊飯器を使用したため、亀裂から漏れたガスに炊飯器のバーナー炎が引火して燃えたものと推定されるが、衝撃荷重のかかった時期や経緯等については不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/10/16)              |
| 2014-1969<br>2014/12/02<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | ガス給湯器(LPガス用、RF式)<br><br>使用期間：約10年10か月       | 使用中のガス給湯器から異音が生じてフロントカバーが変形し、設置されていたパイプシャフトの扉が外れた。<br><br>(拡大被害) | 機器にガス漏れ及び着火動作等の異常がなく、バーナー周辺に水滴跡が確認されたことから、結露水が偶発的に点火プラグやバーナー炎口に滴下し、スパークミスや点火ミスを起こし、点火動作が繰り返された際に未燃ガスが機器内に滞留し異常着火した可能性が考えられるが、使用状況等の詳細が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)           | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>(受付:2014/12/11)                           |
| 2014-1844<br>2014/08/07<br><br>(事故発生地)<br>千葉県  | ガス給湯器(LPガス用、開放式)<br><br>使用期間：不明             | ガス給湯器を使用中、異常着火して炎があふれ、顔に火傷を負った。<br><br>(軽傷)                      | ガス漏れ、水漏れ、点火動作、燃焼性能等に問題がなく、機器は正常に運転でき、事象が再現しないことから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 製造事業者<br><br>(受付:2014/11/25)                            |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                                   | 事故通知内容                                 | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                             |
|---|--------------------------------------|--|--|--|--|
| 2014-1743<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、FF式）<br><br>使用期間：約14年    | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/11/12) |
| 2014-1746<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、FF式）<br><br>使用期間：約14年2か月 | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/11/12) |
| 2014-2089<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、FF式）<br><br>使用期間：約13年6か月 | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 国の行政機関<br><br><br>(受付:2014/12/25)          |
| 2014-2091<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、FF式）<br><br>使用期間：約14年    | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/12/25) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                                       | 事故通知内容                                 | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日                             |
|---|--|--|--|--|--|
| 2014-2203<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>千葉県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式）<br><br>使用期間：約12年8か月 | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2204<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式）<br><br>使用期間：約14年    | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2408<br>2015/01/15<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式）<br><br>使用期間：約12年6か月 | ガス給湯器のケーシングが変形していた。                    | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 国の行政機関<br><br><br>(受付:2015/01/22)          |
| 2014-2465<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式）<br><br>使用期間：約13年6か月 | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。 | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。   | 国の行政機関<br><br><br>(受付:2015/01/29)          |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名  | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置   | 情報通知者<br>日  |
|---|---|--|--|--|---|
| 2014-2519<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式）<br><br>使用期間：約14年8か月  | 機器点検で訪問した際に、ガス給湯器のケーシングが変形していることを確認した。           | 当該製品では再現しなかったものの、ガス電磁弁が何らかの要因で一時的な閉弁遅れが生じ、異常着火に至った、または給排気口が閉塞状態になり異常燃焼に至った可能性が考えられるが、事故当時の使用状況が不明であり、原因の特定はできなかった。   | ガス供給事業者（東京ガス及び大阪ガス）は、2013（平成25）年4月18日付けで、給湯使用時、稀に瞬間的に大きな音がする現象が発生し本体外枠が変形する可能性があることと、そのような現象が発生した製品については、無償修理を行う旨のお知らせを掲載している。 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/02/04)              |
| 2014-2591<br>2015/02/05<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>FF式、暖房機能付）<br><br>AD-205FFA (G)（東京ガス<br>（株）ブランド：AD-<br>205FFAZ）<br>松下電器産業（株）（現 パナ<br>ソニック（株））<br><br>使用期間：不 明 | 作業員がガス給湯器の点火確認を行っていた際、ガス給湯器から異音が生じ、フロントカバーが変形した。 | 長期使用（製造後約27年）により、ファンモーターの軸受け部に錆が発生して、ファンモーターが正常に回転しない状態となり、点火操作が繰り返されたため、内部に滞留した未燃ガスに着火し異常燃焼に至ったものと推定される。  | 製造事業者は、偶発的に発生した事象とみているため、措置はとらなかった。  | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/02/13)              |
| 2014-2379<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>RF式）<br><br>使用期間：約19年1か月  | ガス給湯器のフロントカバーが変形していた。                            | 機器にガス漏れ及び着火動作異常等がないことから、外壁工事の養生シート等により給排気口部が閉塞された状態で使用したことで、給排気が正常に行われず、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形したことが考えられるものの、変形はガス開栓作業時に確認されており、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかったが、2009（平成21）年10月から、ホームページで消費者および工事業者に対し「建物外壁塗装工事の際のご注意について」として注意喚起を行っている。                         | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/01/20) |
| 2014-2615<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>RF式）<br><br>使用期間：約9年  | ガス給湯器のフロントカバーが変形していた。                            | 機器にガス漏れ及び着火動作異常等がないことから、落雪等により排気口が閉塞された状態で機器を使用したことで、未燃ガスが機器内に滞留し、異常着火に至り、フロントカバーが変形したことが考えられるものの、変形はガス定期保安点検時に確認されており、事故発生時期および使用状況等が不明であるため、原因の特定はできなかった。                  | 製造事業者は、被害者の誤った使用方法による事故とみているため、措置はとらなかった。  | 製造事業者<br><br>国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/02/17) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生年月日                                | 品名   | 事故通知内容   | 事故原因  | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                             |
|--|--|--|---|---|--|
| 2014-2639<br>2015/02/07<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>R F 式、暖房機能付）<br><br>AD-245RFA (G) 東京ガス<br>(株) ブランド：AD-<br>245RFAZ)<br>松下電器産業(株) (現 パナ<br>ソニック(株))<br><br>使用期間：約22年 | 作業員がガス給湯器の点火試験<br>作業を行った際に、異音が生じ、<br>フロントカバーとケーシングが変<br>形した。 | 長期使用（約22年）により、ファンモ<br>ーターの軸受け部に錆が発生して、ファンモ<br>ーターが正常に回転しない状態となり、点火操作<br>が繰り返されたため、内部に滞留した未燃ガス<br>に着火し異常燃焼に至ったものと推定される。  | 製造事業者は、偶発的に発生した事象と<br>みているため、措置はとらなかった。                 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2015/02/19) |
| 2014-0978<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>東京都  | ガス給湯器（都市ガス用、<br>R F 式、暖房機能付）<br><br>使用期間：約7年10か月   | ガス給湯器のフロントカバーが<br>変形していた。                                    | 機器にガス漏れ等の異常はなく、排気口が閉<br>塞されるなどで給排気が阻害され、空気不足か<br>ら燃焼できなくなり、機器内に滞留した未燃ガ<br>スに再点火操作のスパークが引火して異常着火<br>し、フロントカバーが変形したものと推定され<br>るが、事故発生時期及び使用状況が不明であ<br>り、原因の特定はできなかった。                                 | 製造事業者は、製品に起因しない事故と<br>みているため、措置はとらなかった。                 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/07/25) |
| 2014-0979<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>R F 式、暖房機能付）<br><br>使用期間：約13年5か月   | ガス給湯器のフロントカバーが<br>変形していた。                                    | 事故品にガス漏れその他の異常がなく、動作<br>にも異常が認められなかったことから、養生<br>シートにより排気口が閉塞された状態で運転を<br>繰り返したため、給排気が阻害され燃焼できず<br>に滞留した未燃ガスに再点火操作のスパークが<br>引火して異常着火し、フロントカバーの一部変<br>形に至ったものと推定されるが、事故発生時期<br>は不明であるため、原因の特定はできなかった。 | 製造事業者は、製品に起因しない事故と<br>みているため、措置はとらなかった。                 | 国の行政機関<br><br>販売事業者<br><br>(受付:2014/07/25) |
| 2014-2206<br>2014/12/23<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガス給湯器（都市ガス用、<br>R F 式、暖房機能付）<br><br>使用期間：約13年  | 使用中のガス給湯器から異音が<br>し、フロントカバーとケーシング<br>が変形した。                  | 機器にガス漏れ等の異常はないことから、給<br>排気口が閉塞された状態で点火動作が行われた<br>ため、異常着火したたものと考えられるが、事<br>故現場に給排気口を閉塞させた要因は確認でき<br>ておらず、原因の特定はできなかった。   | 製造事業者は、製品に異常がなく、排気<br>口部閉塞による異常着火とみているため、<br>措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/01/08) |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生日                                  | 品名                                   | 事故通知内容  | 事故原因   | 再発防止措置                              | 情報通知者<br>受付年月日                             |
|--|--------------------------------------|---|--|-------------------------------------|--|
| 2014-2421<br>2015/01/12<br><br>(事故発生地)<br>京都府  | ガス給湯器（都市ガス用、開放式）<br><br>使用期間：約7か月    | ガス給湯器を使用中、ガス接続部から火が出て、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)                | 機器の取り替えを行う際、ガス接続部のアルミダイカスト製部品に亀裂を生じさせ、経時的に拡大した亀裂から漏れたガスにバーナーの火が引火した可能性が考えられるが、取り替え時の状況が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>(受付:2015/01/23)              |
| 2014-2479<br>2015/01/17<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | ガス給湯器（都市ガス用、開放式）<br><br>使用期間：約15年9か月 | ガス給湯器の点火操作を繰り返したところ、機器上部から火が出て、換気扇のフィルターが焦げた。<br><br>(拡大被害) | 被害者が、点火不良により繰り返し点火操作を行ったため、機器内部未燃ガスが滞留し、異常着火したものと推定されるが、電池の消耗具合など詳細が不明であるため、点火不良が起きた原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)          | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>公益事業者<br><br>(受付:2015/01/30) |
| 2014-2066<br>2014/07/00<br><br>(事故発生地)<br>静岡県  | カセットこんろ用ガスボンベ<br><br>使用期間：約2回        | ガストーチを点火したところ、ボンベ接続部から火が出た。<br><br>(製品破損)                   | ガスボンベのバルブパッキンにオゾン劣化による亀裂があったため、ガストーチとの接続部からガス漏れが生じたものと推定されるが、保管状況等が不明であることから、オゾン劣化した原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)          | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 消費者センター<br><br>(受付:2014/12/24)             |
| 2014-2478<br>2014/12/27<br><br>(事故発生地)<br>栃木県  | 迅速継手（LPガス用）<br><br>使用期間：約2年          | 使用中のガスこんろ付近から出火し、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)                     | ガス栓と迅速継手の接続が不完全な状態になっていたため、接続箇所からガスが漏洩し、こんろの火が引火したものと推定されるが、不完全な接続になった原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                        | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。           | その他<br><br>(受付:2015/01/30)                 |

## 製品区分： 03.燃焼器具

| 管理番号<br>事故発生日                                  | 品名                            | 事故通知内容                                      | 事故原因   | 再発防止措置                              | 情報通知者<br>年月日                   |
|--|-------------------------------|---|--|-------------------------------------|--------------------------------|
| 2014-1025<br>2014/07/22<br><br>(事故発生地)<br>神奈川県 | 迅速継手（都市ガス用）<br><br>使用期間：約2年   | ガスこんろを使用中、迅速継手部分から火が出た。<br><br>(製品破損)       | 迅速継手のソケット部に付着した異物により微量のガス漏れが発生し、滞留した未燃ガスにガスこんろのバーナーの火が引火したことが考えられるが、迅速継手のスリーブが破損しており、破損した時期や経緯は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 国の行政機関<br><br>(受付:2014/07/30)  |
| 2014-1795<br>2014/11/03<br><br>(事故発生地)<br>福井県  | 石油ストーブ（開放式）<br><br>使用期間：不明    | 石油ストーブ付近から出火して住宅を全焼し、隣家に延焼した。<br><br>(拡大被害) | 事故品に異常燃焼の痕跡は認められず、詳細な使用状況は不明であることから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)  | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 警察機関<br><br>(受付:2014/11/17)    |
| 2014-2699<br>2015/01/12<br><br>(事故発生地)<br>静岡県  | 石油ファンヒーター（開放式）<br><br>使用期間：不明 | 石油ファンヒーターの背面から出火し、周辺を焼損した。<br><br>(拡大被害)    | 製品内部からガソリンが検出されたことから、誤給油により出火に至った可能性が考えられるが、出火当時事故品は停止中であり、詳細な使用状況も不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                           | 製造事業者は、製品に起因しない事故とみているため、措置はとらなかった。 | 製造事業者<br><br>(受付:2015/02/27)   |
| 2014-2555<br>2015/01/21<br><br>(事故発生地)<br>北海道  | 油だき温水ボイラ<br><br>使用期間：約14年     | 油だき温水ボイラを使用中、異臭がし、頭痛がした。<br><br>(軽傷)        | 事故品本体には、燃焼不良等の異常はみられなかったことから、修理事業者が故障対応した以降に排気管に何らかの異常が生じたことで異臭が発生したことも考えられるが、当該排気管は廃棄されており、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)          | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。      | 消費者センター<br><br>(受付:2015/02/09) |



## 製品区分： 04.家具・住宅用品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容                      | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                       |
|---|--|-----------------------------|--|---|--------------------------------------|
| 2014-1712<br>2014/09/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | いす（ガス昇降式、事務用、キャスター付）<br><br>AG-48<br><br>(株) コメリ<br><br>使用期間：約6年 | 使用中のいすの脚部が破損した。             | 事故品の脚部（ポリプロピレン製）破断面には、複数箇所（す）が認められ、また、ポリエチレン等の異種材料が混入していたことから、樹脂の強度が低下し、使用に伴う応力に耐えきれず、破損したものと推定される。  | 輸入事業者は、2014（平成26）年12月1日付けでホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。<br>なお、今後の製品については、自社基準を設定し、仕入れ先に対して、強度及び耐久性に関わる部品、部材の指定を行うとともに、素材証明書を入力することとした。 | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2014/11/07) |
| 2014-1953<br>2014/08/00<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | いす（ガス昇降式、事務用、キャスター付）<br><br>AG-48<br><br>(株) コメリ<br><br>使用期間：約6年 | 使用中のいすの脚部が破損し、打撲を負った。       | 事故品の脚部（ポリプロピレン製）破断面には、複数箇所（す）が認められ、また、ポリエチレン等の異種材料が混入していたことから、樹脂の強度が低下し、使用に伴う応力に耐えきれず、破損したものと推定される。  | 輸入事業者は、2014（平成26）年12月1日付けでホームページに社告を掲載し、製品の回収を行っている。<br>なお、今後の製品については、自社基準を設定し、仕入れ先に対して、強度及び耐久性に関わる部品、部材の指定を行うとともに、素材証明書を入力することとした。 | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2014/12/09) |
| 2014-2405<br>2015/01/14<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | いす（学習用、木製）<br><br><br><br>使用期間：約12年11か月                          | いすを使用中、座面固定用のネジが折れた。        | 長期間使用しているうちに事故品の座面固定用ネジに緩みが生じ、そのまま使用したためネジに過大な負荷が加わり、疲労破壊により破断したものと考えられるが、事故品が確認できず、詳細な使用状況も不明であり、原因の特定はできなかった。  | 輸入事業者は、長年の使用による事故とみているため、既製品については措置はとらなかったが、強度を上げたネジに変更するとともに、自社ホームページ上で「ネジの締め直し」について注意喚起を行っている。                                    | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/01/21) |
| 2014-2556<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>島根県 | いす（木製、ベンチ、ダイニング用）<br><br>Tステラベンチ<br><br>双日九州（株）<br><br>使用期間：約5か月 | いすを使用中、座面から突き出したネジでスポンが破れた。 | 事故品の座板は、フレーム下面の座堀（ネジの頭部が出ないようにあらかじめ開けておく穴）部から木ネジを締め込んでフレームに固定しているが、座堀の深さが同等品に比べて深かったことに加え、木ネジの締付け力が大きかったことも影響して木ネジの先端が座板の上面から突き出ていたため、張り材の表面から木ねじの先端が露出し、事故に至ったものと推定される。 | 輸入事業者は、既製品については全数部品交換対応とし、今後の製品については、フレームと座板の取り付け方法を同様の不良が発生しない構造に変更することとした。  | 輸入事業者<br><br><br><br>(受付:2015/02/09) |

## 製品区分： 04.家具・住宅用品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                            | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置                                | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|-------------------------------|--|--|---------------------------------------|--------------------------------|
| 2014-1124<br>2014/05/31<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | はしご（アルミ製、伸縮式）<br><br>使用期間：約3年 | 通信販売で購入したはしごを使用中、踏みざんが外れ、落下して軽傷を負い、倒れたはしごが隣家のサッシを損傷した。<br><br>(軽傷) | 事故品の踏みざんの裏側に打痕があり、踏みざんを保持する樹脂製部品が破損していたが、破損していなかった踏みざんの取付け強度に問題は無く、また、破損していた樹脂製部品と破損していなかった樹脂製部品の硬さに差は見られなかったことから、樹脂製部品が破損した経緯等、事故時の状況が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)                   | 輸入事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。             | 消費者センター<br><br>(受付:2014/08/11) |
| 2014-1992<br>2014/12/05<br><br>(事故発生地)<br>滋賀県 | はしご兼用脚立（アルミ製）<br><br>使用期間：不明  | はしご兼用脚立をはしご状態にして使用中、転倒し、打撲を負った。<br><br>(軽傷)                        | 事故品の材料組成、硬さに異常は認められないことから、作業中にバランスを崩してはしごが転倒し、転倒過程で被害者の身体、又は周辺の構造物に事故品が接触して、支柱が変形したものと考えられるが、事故時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 輸入事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/12/15)   |
| 2014-1993<br>2014/10/03<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | ハンガーラック（回転式）<br><br>使用期間：約1か月 | 通信販売で購入したハンガーラックが倒れ、肩に打撲を負った。<br><br>(重傷)                          | 被害者が上段にあった服を取るうとした時、ハンガーラックが傾き、衣類が偏って偏荷重がかかったことで転倒したものと推定されるが、洋服の枚数や掛け方などの使用状況も不明であることから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者が倒産しているため、措置はとれなかった。             | 販売事業者<br><br>(受付:2014/12/15)   |
| 2014-1975<br>2014/12/08<br><br>(事故発生地)<br>徳島県 | 踏み台（アルミ製）<br><br>使用期間：約2か月8日  | 踏み台を使用中、開き止め金具が外れて落下し、軽傷を負った。<br><br>(軽傷)                          | 事故品は両側の開き止め金具が支柱取付部付近で折れ曲がった状態に変形し、開き止め金具と支柱との接続部のリベットが抜けて開き止め金具が支柱から外れていることから、事故は、両側の開き止め金具が支柱から外れたために、支柱が開いた状態となって被害者が落下し、負傷したものと推定されるが、開き止め金具が変形した経緯等は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 輸入事業者は、被害者の不注意とみられる事故であるため、措置はとらなかった。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/12/12)   |

製品区分： 04.家具・住宅用品

| 管 理 番 号<br>事 故 発 生 年 月 日                      | 品 名                 | 事 故 通 知 内 容  | 事 故 原 因  | 再 発 防 止 措 置                    | 情 報 通 知 者<br>受 付 年 月 日       |
|---|---------------------|--|--|--------------------------------|------------------------------|
| 2014-2425<br>2014/12/27<br><br>(事故発生地)<br>静岡県 | 物置<br><br>使用期間：約3か月 | 物置の前を通りかかったところ、物置の扉が突然外れて顔にあたり、軽傷を負った。<br><br>(軽傷) | 物置の設置状態や扉の各部寸法、レール等に異常はなく、扉の開閉時にも扉が外れる状況は再現せず、事故当時の詳細な状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。 | 製造事業者<br><br>(受付:2015/01/23) |

## 製品区分： 05.乗物・乗物用品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                              | 事故通知内容  | 事故原因  | 再発防止措置                         | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|---------------------------------|---|---|--------------------------------|--------------------------------|
| 2014-1727<br>2014/10/28<br><br>(事故発生地)<br>広島県 | 自転車(三輪車)<br><br>使用期間：約1年4か月     | 三輪自転車で走行中、左側後輪が外れた。<br><br>(製品破損)                     | 販売店での修理の際、スポークの組み付け不良があり、また、当該車輪が駆動輪であったことから、走行中の負荷がハブからスポークに伝わる際にスポークが破断し、車輪が外れたものと推定されるが、詳細な使用状況等が不明であることから、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。 | 消費者センター<br><br>(受付:2014/11/10) |
| 2014-1917<br>2014/10/30<br><br>(事故発生地)<br>福岡県 | 自転車用ペダル<br><br>使用期間：約6か月        | 自転車で走行中、ペダルの軸が折れて転倒し、軽傷を負った。<br><br>(軽傷)              | ペダル軸のクランク取付け部付近が疲労破壊により折損しており、また、ペダル軸の折損部付近に組み込まれたベアリングに損傷が認められた。ベアリングの損傷位置付近から疲労破壊が生じていたことから、ペダルに過大な荷重が衝撃が加わったためペダル軸に亀裂が生じ、その後の使用により亀裂が進展して折損したものと推定されるが、ペダルに過大な荷重が衝撃を受けた時期等が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。      | 消費者センター<br><br>(受付:2014/12/04) |
| 2014-2046<br>2014/10/27<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 電動車いす(ジョイスティック型)<br><br>使用期間：不明 | 電動車いすで走行中、段差を乗り越えようとした際に体を投げ出され、膝に打撲を負った。<br><br>(軽傷) | 段差を乗り越えようとした際に事故品の前輪キャストタイヤが破損したものと考えられるが、破損した前輪キャストタイヤがレンタル事業者により廃棄されており、また、事故当時の状況が不明であるため、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)  | 製造事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。 | 製造事業者<br><br>(受付:2014/12/19)   |

## 製品区分： 06.身のまわり品

| 管理番号<br>事故発生日                                 | 品名   | 事故通知内容                                  | 事故原因   | 再発防止措置  | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|--|---|--|---|--------------------------------|
| 2014-2211<br>2014/12/14<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | カイロ（使い捨て式、貼るタイプ）<br><br>使用期間：1回                      | 下着（シャツ）の上にカイロを貼って使用していたところ、腹部などに火傷を負った。 | 事故品は既に廃棄されており、事故同梱品については通常使用において異常は認められず、詳細な使用状況が不明であることから、原因の特定はできなかった。   | 製造事業者は、被害者の不注意による事故とみているため、措置はとらなかった。   | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/08) |
| 2014-2534<br>2001/06/00<br><br>(事故発生地)<br>秋田県 | デスクマット<br>マ-417NM<br><br>コクヨS&T（株）<br><br>使用期間：不明    | デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。    | 当該デスクマットには皮膚感作性物質であるビリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ビリジン）が含有されていることから、このビリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 | 販売事業者は、注意喚起、製品の回収及び交換を実施するため、新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、Web広告、一般雑誌広告及び医師会関連雑誌の広告に回収案内を掲載している。また、販売店経由でユーザーに回収案内を行い、自社カタログにもその旨を記載したチラシを挿入している。<br>なお、NITEは2006（平成18）年12月13日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。 | 販売事業者<br><br>(受付:2015/02/05)   |
| 2014-2535<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>富山県 | デスクマット<br>マ-527N<br><br>コクヨS&T（株）<br><br>使用期間：約6か月   | デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。    | 当該デスクマットには皮膚感作性物質であるビリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ビリジン）が含有されていることから、このビリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 | 販売事業者は、注意喚起、製品の回収及び交換を実施するため、新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、Web広告、一般雑誌広告及び医師会関連雑誌の広告に回収案内を掲載している。また、販売店経由でユーザーに回収案内を行い、自社カタログにもその旨を記載したチラシを挿入している。<br>なお、NITEは2006（平成18）年12月13日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。 | 販売事業者<br><br>(受付:2015/02/05)   |
| 2014-2864<br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>兵庫県 | デスクマット<br>マ-512N<br><br>コクヨS&T（株）<br><br>使用期間：約2年6か月 | デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。    | 当該デスクマットには皮膚感作性物質であるビリジン系有機抗菌剤（2, 3, 5, 6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ビリジン）が含有されていることから、このビリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。 | 販売事業者は、注意喚起、製品の回収及び交換を実施するため、新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、Web広告、一般雑誌広告及び医師会関連雑誌の広告に回収案内を掲載している。また、販売店経由でユーザーに回収案内を行い、自社カタログにもその旨を記載したチラシを挿入している。<br>なお、NITEは2006（平成18）年12月13日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。 | 販売事業者<br><br>(受付:2015/03/18)   |

製品区分： 06.身のまわり品

| 管 理 番 号<br>事 故 発 生 年 月 日                          | 品 名   | 事 故 通 知 内 容  | 事 故 原 因   | 再 発 防 止 措 置   | 情 報 通 知 者 日<br>受 付 年 月 日   |
|---|---|--|---|---|--|
| 2014-2865<br><br>0000/00/00<br><br>(事故発生地)<br>岡山県 | デスクマット<br><br>マ-568N<br><br>コクヨS&T(株)<br><br>使用期間：約16年6か月 | デスクマットを使用していたところ、マットとの接触部分に皮膚炎を発症した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(軽傷) | 当該デスクマットには皮膚感作性物質であるピリジン系有機抗菌剤(2,3,5,6-テトラクロロ-4-[メチルスルホニル]ピリジン)が含有されていることから、このピリジン系有機抗菌剤との断続的な接触により、アレルギー性接触皮膚炎を発症したものと推定される。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(A1) | 販売事業者は、注意喚起、製品の回収及び交換を実施するため、新聞及びホームページに社告を掲載するとともに、Web広告、一般雑誌広告及び医師会関連雑誌の広告に回収案内を掲載している。また、販売店経由でユーザーに回収案内を行い、自社カタログにもその旨を記載したチラシを挿入している。<br>なお、NITEは2006(平成18)年12月13日付け「事故情報特記ニュース」で消費者に注意喚起を行った。 | 販売事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/03/18) |
| 2014-2493<br><br>2015/01/14<br><br>(事故発生地)<br>宮城県 | 懐中電灯(乾電池式)<br><br><br><br><br><br><br><br>使用期間：不 明        | 懐中電灯付近から出火し、住宅の一室を焼損した。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(拡大被害)            | 事故品のスプリング端子、スイッチ類及び乾電池(マンガン単1形)に出火の痕跡は認められないが、焼損が著しく、原因の特定はできなかった。<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(G1)  | 製造事業者等が不明であるため、措置はとれなかった。   | 消防機関<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/02/02)  |

製品区分： 07.保健衛生用品

| 管 理 番 号<br>事 故 発 生 年 月 日                      | 品 名                   | 事 故 通 知 内 容                          | 事 故 原 因   | 再 発 防 止 措 置                           | 情 報 通 知 者<br>受 付 年 月 日         |
|---|-----------------------|--------------------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------|
| 2014-2781<br>2014/10/12<br><br>(事故発生地)<br>大阪府 | 歯ブラシ<br><br>使用期間：約2か月 | 使用中の歯ブラシの柄が折れて、頬にけがを負った。<br><br>(軽傷) | 事故品の破面にビーチマークが認められたことから、繰り返し使用に伴って疲労破壊に至ったものと考えられるが、破損の起点となった傷等が確認できず、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、被害者の誤使用による事故とみているため、措置はとらなかった。 | 消費者センター<br><br>(受付:2015/03/09) |

## 製品区分： 08.レジャー用品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名                                  | 事故通知内容   | 事故原因   | 再発防止措置                                     | 情報通知者<br>受付年月日                 |
|---|-------------------------------------|--|--|--|--------------------------------|
| 2014-2030<br>2014/10/29<br><br>(事故発生地)<br>東京都 | 運動器具 (ハードル)<br><br>使用期間：約4か月        | 子供がハードルを跳んでいたところ、転倒してハードルに接触し、足に軽傷を負った。<br><br>(軽傷)  | 事故品は、高さ20cmのスチールパイプ製のハードルであるが、パイプ端末部の硬質樹脂製保護キャップは容易に外れない構造であり、ハードルを跳んだ際に足が引っ掛かり、次のハードルの上部を挿んだ状態で倒れ込み、転倒したハードルのパイプ端末部で足を負傷したものと考えられるが、事故発生時の詳細な状況が不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1) | 製造事業者は、他に同種事故発生の情報がないことから、措置はとらなかった。       | 製造事業者<br><br>(受付:2014/12/17)   |
| 2014-2361<br>2015/01/09<br><br>(事故発生地)<br>長野県 | 玩具 (菓子サンプル工作キット)<br><br>使用期間：1回     | 使用中の菓子サンプル工作キットの樹脂入りチューブが破裂して、内容物が飛び散り、顔等に付着した。<br>なお、当該製品は、チューブ先端の中ぶたを取って、ノズルを付けることで、疑似クリーム (アクリル樹脂製) のサンプルを作ることができる構造であった。<br><br>(拡大被害) | 事故品のチューブに破損は認められず、ノズル及び中ぶたがなかった。外キャップに内容物が付着していたことから、チューブを強く握った際に、外キャップの通気穴から内容物が飛び散った可能性が考えられるが、詳細な使用状況は不明であり、原因の特定はできなかった。<br><br>(G1)   | 輸入事業者は、事故原因が不明であるため、措置はとらなかった。             | 消費者センター<br><br>(受付:2015/01/16) |
| 2014-1913<br>2014/11/12<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 給水容器 (ウォータージャグ)<br><br>使用期間：約3か月13日 | 給水容器の取っ手を持って移動したところ、上部ふたの部分が外れ、こぼれたお茶が足にかかって火傷を負った。<br><br>(軽傷)  | 被害者が事故品を廃棄しており、事故品が入手できないことから、調査できなかった。<br><br>(G2)  | 輸入事業者は、事故品が入手できないことから、調査不能であるため、措置はとらなかった。 | 輸入事業者<br><br>(受付:2014/12/04)   |



製品区分： 09.乳幼児用品

| 管理番号<br>事故発生年月日                               | 品名   | 事故通知内容                              | 事故原因  | 再発防止措置   | 情報通知者<br>受付年月日   |
|---|--|-------------------------------------|---|--|--|
| 2014-2675<br>2015/02/14<br><br>(事故発生地)<br>埼玉県 | 乳母車（折り畳み式）<br><br>マクラレーン スポーツ<br><br>野村貿易（株）<br><br>使用期間：約3年 | 乳母車を開こうとしたところ、<br>幼児の小指が挟まり、軽傷を負った。 | 幼児が近くにいるときにベビーカーを開いたため、事故品のヒンジ部にあった幼児の指がフレームとその受け部に挟まれ負傷したものと推定される。<br>なお、ヒンジ部に挟み込みの注意喚起を促す警告表示はなかった。 | 輸入事業者は、2009（平成21）年11月16日付けでホームページに「ヒンジカバー無償配布のお知らせ」を掲載し、ベビーカー開閉時の注意喚起を行うとともに、希望者にヒンジカバーの無料配布の案内を行っている。<br>なお、2009（平成21）年11月以降に販売する製品については、ヒンジカバーを標準付属品とした。 | 輸入事業者<br><br><br><br><br><br><br><br><br><br>(受付:2015/02/23) |

(軽傷)

(B4)